

2013年の念頭にあって

むらづくり協議会長 荒 金 実

今年の正月は阿毘縁の冬らしからぬ雪の少ない状況が続いております。このまま雪による災害の起こらない事を祈りながらも、夏の水不足を心配する声も聞こえてきます。

昨年は、古事記編纂 1300 年にあたり日南町でもさまざまなイベントが行われました。阿毘縁むらづくり協議会でも、6 月に田中文也先生を迎えての講演会（山帰来の「小さな杜の市」への協賛事業）を行い、町との協力で 100 名近い参加者がありました。この中国山地が日本でも最も古く文明が開けた地域であり、「邪馬台国」がこの地域にあった可能性について語られました。参加された方も古代史へのロマンとこの地に生きていることへの誇りを大いに持たれたようです。

また秋には、2 回目の阿毘縁高原秋満載フェスタを開催しました。新たに整備した八石谷から御墓山に続く遊歩道を歩くイベントに参加された 50 名以上のうち半数が町外からの参加者でした。この取り組みにより、長い間地元では語られる事のなかった八石谷にまつわる伝説を掘り起こす事が出来ました。

古事記編纂 1300 年の終わりは、日本書紀 1300 年（2020 年）、出雲国風土記 1300 年（2033 年）の始まりでもあります。日本の国の成り立ちがかならずしも明らかにされていない状況の中で、これからも古代史への関心をかきたてられるイベントが全国各地で取り組まれると思います。

出雲国風土記には、阿志毘縁のセキ（番所）が記されています。木村勇さん宅に保存されている写真で、御墓山と阿志毘縁のセキの宣揚祭が執り行われていた事が確認できます。大管峠から砺波尻、山上別れ、そして山上・霞・石見への道は、積雪期間を除けば重要な街道（出雲国風土記・東南道）として利用されていました。

このような阿毘縁の古い歴史に大いに関心を持つとともに、現実の農林業がかかえる困難や、福祉・防災など地域の生活にかかわる課題が少しでも改善できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

合わせて自治会の合併と地域生活のしくみについても議論を深めていく年にしたいと思ひます。

高原だより

発行ー阿毘縁むらづくり協議会

電話 87-0909

平成 25 年 1 月

(通巻 83 号)



阿毘縁会館に生け花を飾っていただきました
十二月二十九日に、生け花グループ五名の方により、正月のお花を生けていただきました。お花が飾られると、会議室がパツと明るくなりました。

生け花グループのみなさん、ありがとうございます。

協議会活動記録

《十二月》

二十八日：仕事納め

《一月》

四日：仕事始め

九日：第八回理事・事務局会議

十五日：自治会合併検討委員会

二十一日：文化生涯学習部・

食生活改善推進員合同会議

これからの予定

《一月》

二十七日：産業観光振興部会

新春むらづくり懇談会

《二月》

一日：自治会合併検討委員会

四日：保健体育部会

七日：地域のささえ合い研修会

福祉防災対策部会

十六日：男の料理教室・会食会

二十二日：第九回理事・事務局会議



「地域のささえ合い研修会」開催のお知らせ

東日本大震災以降、防災や見守り活動が注目されています。また、日南町では高齢化が進み、独居世帯も年々増加しています。このようなことから、もしもの時だけでなく日頃から住民同士が支え合える地域づくりを目的とした研修会を計画しました。

研修会では、日野町で被災地支援活動や高齢者の見守り活動を行っておられる日野ボランティア・ネットワークの森本智喜さんに、実際に被災地で活動された経験や日野町での見守り活動についてお話をうかがいます。そして講演後には、社会福祉協議会の白根事務局長さんご指導のもと、参加者全員での支え愛マップ作りを計画しています。

この機会に、地域の防災について考えてみませんか？ 皆さまお誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。

日 時 2月7日(木) 午後1時30分～

場 所 阿毘縁会館

内 容 ・午後1時30分～ 講演

講師：森本智喜さん（日野ボランティア・ネットワーク）

・午後3時～ 支え愛マップ作り

指導：白根事務局長（日南町社会福祉協議会）

主催：阿毘縁むらづくり協議会 福祉防災対策部会



男の料理教室・会食会

料理教室で調理した料理を、みんなで楽しく会食しませんか？

男女問わず多数のご参加お待ちしております。

期 日 2月16日(土曜日)

時 間 *料理教室 午前9時開会 *会食会 午前11時(料理教室終了後)

場 所 まなび宿あびれ家庭科室

申込方法 申込書に必要事項を記入のうえ、阿毘縁地域振興センターに提出してください。

電話・FAXでのお申し込みも受け付けます(電話・FAX 87-0909)。

申込〆切 2月4日(月) 必着厳守



主催：阿毘縁むらづくり協議会 文化生涯学習部

共催：日南町食生活改善推進員

(お願い) 使わない古布をご提供ください

先月8日から今月20日まで、鳥取市歴史博物館では、企画展『あの頃の、子どもたちは。～どのような時代を生き、何を学んだか～』が開催されました。

この企画展では、川上きしさんが作製された「いろは額」も展示されました。「いろは額」は、いろはうたを一字ずつ人形で表したもので、旧阿毘縁小学校の玄関に展示されていました(現在は日南町美術館で保管)。

このたび阿毘縁むらづくり協議会では、「いろは額」の複製版を作製する計画を進めています。複製版を製作するにあたり、人形の材料となる古布が必要になります。各家庭で使われていない古布の端切れ(10cm程度)がございましたら、ぜひご提供くださいますようお願いいたします。

【連絡先】 阿毘縁地域振興センター 電話・FAX 87-0909



新年あけまして
おめでとうございます。
今年も当協議会の活動に
ご理解とご協力のほど
よろしくお願ひいたします。